

第 95 回日本薬理学会年会（第 2 報）

イノベーション・commonsとしての薬理学，その知の創成と継承

— The Pharmacology as an Innovation Commons;

Creation and Inheritance of its Knowledge —

会 期：2022 年 3 月 7 日（月）～ 9 日（水）

会 場：福岡国際会議場，福岡サンパレス

年会ホームページ：https://pharmacology.main.jp/jps95/

❖ ご 挨拶 ❖

会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第 95 回日本薬理学会年会に関しまして、下記の通りご案内いたします。本年会のテーマを「イノベーション・commonsとしての薬理学，その知の創成と継承」“The Pharmacology as an Innovation Commons; Creation and Inheritance of its Knowledge”とし、薬理学を共創の場として、数多くの創薬イノベーションが、生物学、細胞分子生物学、免疫学、腫瘍学、病態生理学、病理学など様々な基礎医学と共に協調的に創成されてきたことから、それら学際領域との交流の強化と拡大を図る年会としたいと考えています。プレナリーレクチャー、特別講演、一般口演及びポスター、一般公募シンポジウム、年会企画シンポジウム、次世代の会主催シンポジウム、他学会との共催シンポジウム、江橋節郎賞受賞講演、学術奨励賞受賞講演、教育関連ワークショップ、薬理学研究技術セミナーならびに市民公開講座の開催を予定しています。さらに製薬企業など産業界との活発な交流を推進する目的で、企業公募シンポジウムや新たに創薬オープンイノベーションアイデアの紹介も企画しております。

プレナリーレクチャー・特別講演では、創薬研究や医学研究の第一線で活躍されている先生方を演者に迎え、さらに他の基礎医学分野などの学際領域、臨床医学・医療との連携、国際連携、産学官連携、ダイバーシティ推進、薬理学教育、薬理学人材育成などの視点を重視していきたいと思っております。また、日米薬理学合同セミナーを年会セッションとして開催する予定です。次世代の薬理学を担う学生・若手研究者にとっても、薬理学を身近に感じて頂けるサイエンスとして再認識し、その創成と継承に活躍する機会を見出す年会となることを目指して、全力で取り組む所存です。

なお、今回の開催に当たりましては、来春には新型コロナウイルス感染も沈静化していることと思っておりますので、通常の現地開催を基本として計画しております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第 95 回日本薬理学会年会

年会長 宮田 篤郎

鹿児島大学大学院 生体情報薬理学分野 教授

副会長 笹栗 俊之

九州大学大学院 臨床薬理学分野 教授

❖ 開催概要 ❖

*タイトル等については今後変更となる可能性があります。

最新の情報は年会ホームページをご確認下さい。

プレナリーレクチャー

満屋 裕明（国立国際医療研究センター研究所長 / 熊本大学特別招聘教授）

特別講演

井上 和秀（九州大学特別主幹教授）

岡部 繁男（東京大学大学院医学系研究科神経細胞生物学分野教授）

金井 好克（大阪大学大学院医学系研究科生体システム薬理学教授）

北村 和雄（宮崎大学フロンティア科学総合研究センター特別教授）

小賤 健一郎（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科遺伝子治療・再生医学分野教授）
佐谷 秀行（慶應義塾大学医学部先端医科学研究科遺伝子制御研究部門教授）
内藤 幹彦（東京大学大学院薬学系研究科社会連携講座タンパク質分解創薬特任教授）
西中村 隆一（熊本大学発生医学研究所教授・副所長）
柳沢 正史（筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIS）機構長・教授）
Eric J. Nestler（Nash Family Professor of Neuroscience, Department of Neuroscience, Icahn School of Medicine at Mount Sinai, USA）
「Transcriptional and Epigenetic Mechanisms of Drug Addiction」
James K. Liao（Professor of Medicine, Section Chief of Cardiology, University of Chicago, USA）
「Statin Pleiotropy: From Mechanistic Insights to Therapeutic Applications」

年会長講演

宮田 篤郎（第95回日本薬理学会年会 年会長）

シンポジウム

公募シンポジウム・ワークショップ
次世代の会主催シンポジウム
企業企画公募シンポジウム
他学会共催シンポジウム
日本学術会議後援シンポジウム
日本医学会連合加盟学会連携フォーラム
日本解剖学会・日本生理学会共催シンポジウム
日本腎臓学会共催シンポジウム
日本毒性学会共催シンポジウム
日本比較薬理毒性学会共催シンポジウム
歯科基礎医学会共催シンポジウム
感覚研究コンソーシアム共催シンポジウム

江橋節郎賞・学術奨励賞 受賞講演

JPS-ASPET Lecture

教育関連ワークショップ

薬理学研究技術セミナー

創薬オープンイノベーション

テクニカルプレゼンテーション

ランチョンセミナー：昼食付のセミナーを開催予定としておりますが、後日年会ホームページにおいてご案内いたします。

学術評議員会・通常総会：3月7日（月）夕刻に開催いたします。

懇親会：開催予定としておりますが、後日年会ホームページにおいてご案内いたします。

宿泊のご案内：後日年会ホームページにおいてご案内いたします。

看護薬理学カンファランス：Zoom 配信によるリモート形式にて実施する予定です。

市民公開講座：3月6日（日）午後、JR博多シティにおいて開催いたします。「スポーツとくすり」をテーマとして、乾 明夫先生（鹿児島大学大学院漢方薬理学）、大隈 俊明先生（九州大学大学院病態機能内科学）、鈴木 秀典先生（日本医科大学、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 会長）にご講演頂きます。

参加登録方法

○シンポジウム・ワークショップのオーガナイザー・演者

会 員：年会ホームページからJPS Onlineに入り事前参加登録を行っていただきます。事前参加登録は参加登録費等の領収をもって完了となりますので、期日までに忘れずにお支払いください。

非会員：別途年会事務局よりご案内いたします。

○一般演題・学生演者

年会ホームページからJPS Onlineに入り事前参加登録後、演題登録を行っていただきます。一般演題・学生演者の事前参加登録期限は2021年10月15日（金）です。参加登録費・演題登録料の納入も2021年10月15日（金）までにJPS Onlineからクレジットカードでお支払いください。

○演者（発表者）を除く年会参加者

2022年1月28日（金）までに事前参加登録と参加登録費のお支払いを行ってください。

会員：JPS Online から参加登録費等を、クレジットカードによりお支払いください。

非会員（JPS アカウントを取得されている方）：JPS Online から 参加登録費等をクレジットカードでお支払いください。

非会員（JPS アカウントを取得されていない方）：事前参加登録するためにはJPS アカウントの取得が必要です。年会ホームページ（事前参加登録・一般演題登録のメニュー）から日本薬理学会 JPS アカウント取得画面に入り JPS アカウントを取得してください。その後 JPS Online から参加申込・クレジットカードでのお支払いを行ってください。

※クレジットカード支払以外をご希望の方は、下記銀行口座宛に振込をお願いいたします。

郵便局備え付けの払込取扱票をご使用の場合は「備考欄」に、その他方法による振込の際には、払込人名の前に「受付番号」を入力してください。

○郵便振替口座：00180-4-650975 公益社団法人日本薬理学会（ゆうちょ銀行 019 店 当座 0650975）

○三菱 UFJ 銀行：本郷支店 普通 3798860 公益社団法人 日本薬理学会

演題登録受付期間：2021年9月1日（水）～10月15日（金）

事前参加登録受付期間：2021年9月1日（水）～2022年1月28日（金）

※2022年1月28日（金）までに参加登録された方に対しては、事前参加登録の参加費が適用されます。

※2022年1月29日（土）以降は、当日参加費が適用されますのでご注意ください。

1. JPS Online 参加申込画面よりクレジットカードでのお支払いです。参加登録費等は個人単位でお支払いください。
2. 大学院生の参加登録費は、事前参加登録 3,000 円、当日参加登録 4,000 円です。事前参加登録される大学院生で非会員の方は JPS Online 参加申込画面の通信欄に指導教員名を必ず入力してください。
※当日参加登録の場合は、受付において学生証の提示が必要です。
3. 学部学生の参加登録費は、事前参加登録 2,000 円、当日参加登録 3,000 円です。事前参加登録される学部学生で非会員の方は JPS Online 参加申込画面の通信欄に指導教員名を必ず入力してください。
※当日参加登録の場合は、受付において学生証の提示が必要です。
4. 懇親会は実施予定としておりますが、今後変更となる可能性があります。詳細は後日年会ホームページにおいてご案内いたします。
5. 一旦お支払いいただいた参加登録費は、理由の如何を問わず返金いたしません。
6. 2022年1月28日（金）までに、事前参加登録を完了し、かつ参加登録費等をお支払いいただいた方には、プログラムおよび参加証（ネームカード）を2022年3月上旬（予定）に JPS Online に登録された所属先に発送いたします。 所属先以外の送付先を希望される場合は、<https://pharmacol.or.jp/mailform/index.html> よりご連絡ください。 また、演題検索ウェブサイト等において発表要旨の閲覧および検索ができるようになります。詳細につきましては、後日年会ホームページにおいてご案内いたします。

演者	
○演題登録時にお支払いください	
参加登録費：	
学術評議員	10,000 円
一般会員	9,000 円
大学院生	3,000 円
学部学生	2,000 円
演題登録料：	3,000 円／演題
懇親会費	後日案内

参加者	
○2022年1月28日（金）までの事前参加登録	
参加登録費：	
学術評議員	10,000 円
一般会員	9,000 円
大学院生	3,000 円
学部学生	2,000 円
非会員	13,000 円
懇親会費	後日案内
○当日参加登録	
参加登録費：	
学術評議員	13,000 円
一般会員	13,000 円
大学院生	4,000 円
学部学生	3,000 円
非会員	15,000 円
懇親会費	後日案内

演題登録方法

登録前の準備

1. 一般演題，学生セッションの筆頭発表者は，2021年度の日本薬理学会会員であることが必要です。2021年度の会費をまだ納入されていない会員の方は，早急にお支払いください。非会員の方は，演題登録前に年会ホームページ（事前参加登録・一般演題登録のメニュー）にリンクされている日本薬理学会【入会の案内】画面の指示に従って，入会手続きを行い，会員登録を行ってください。会員登録されませんと演題の登録ができません。
2. 演題名（日本語と英語），発表形態（一般演題：口頭，一般演題：ポスター），筆頭発表者および共同発表者名（漢字，ふりがな，英字），所属先名（日本語と英語），希望カテゴリ，キーワード，英文発表要旨およびCOI申告書（筆頭発表者・責任発表者）をあらかじめご準備ください。

注意事項

1. 演題は，年会ホームページ（事前参加登録・一般演題登録のメニュー）からJPS Onlineへ入りご登録ください。プレナリーレクチャー・特別講演の演者には別途年会事務局よりご案内いたします。シンポジウム，ワークショップ演者は，オーガナイザーの指示に従ってください。
2. 同一研究機関内で複数の演題を登録する場合，所属機関（日本語と英語）の名称および略称を統一するようお願いいたします。
3. コンピューターおよびネットワーク環境，登録プログラムとブラウザの相性等により，演題登録時に問題が生じることがありますので，早めのご登録をお勧めいたします。

一般演題

1. 一般演題は，口頭またはポスターにより発表していただきます。
2. 一般演題（口頭）での発表は，1演題あたり12分（発表9分，質疑応答3分），ポスター発表は年会が指定した時間帯におけるフリーディスカッションとします。
3. 演題の登録はJPS Onlineにおいて受け付けます。
4. 希望発表形態（一般演題：口頭，一般演題：ポスター）を選択してください。一般演題の発表形態（口頭またはポスター）の最終的な決定は年会事務局にご一任ください。
5. 一般演題の筆頭発表者となることができるのは，1人1演題です。

【年会優秀発表賞】

1. 一般演題（英語による口頭発表）の中から選考いたします。
2. 選考を希望される方は演題登録時に項目チェックしてください。なお，年会優秀発表賞に応募できる演題数は，各研究室あたり2演題までとします。
（応募資格）次のいずれかに該当する方
36歳未満の方（2022年4月1日現在）
新学術評議員選考規定に定める薬理学研究歴（＝会員歴）5年以下の方（入会年より起算し演題登録年の12月末日現在で算定する）。
（選考方法）審査基準に基づき，審査委員が評価を行います。選考結果の発表は3月9日（水）の午後に行う予定です。

登録手順

1. 演題登録は，年会ホームページからJPS Onlineに入り行ってください。2021年9月1日（水）から10月15日（金）までに演題登録を終えてください。
2. 表示される案内に従って，**登録前の準備** 2. で示した各項目を入力してください。
3. 筆頭発表者および共同発表者は入力された順番にプログラムに掲載されます。アルファベット（ローマ字）氏名の入力には必ず半角文字をご使用ください。
4. 文字装飾（上付・下付，太文字等）の入力は登録画面の案内に従ってください。
5. 希望カテゴリは，年会ホームページにリンクされている演題分類表を参照して，第一希望・第二希望を選択してください。
6. キーワードは，年会ホームページにリンクされているキーワード一覧表に従って選択してください。
7. 登録した演題は，申し込み締切までは【編集】ボタンで修正できますが，締切後は修正できません。
8. JPS Onlineより事前参加登録費・演題登録料の支払いを行ってください。クレジットカードで参加登録費および演題登録料をお支払いください。
9. 筆頭発表者の参加登録および参加登録費お支払いの締切日は2021年10月15日（金）です。

10. 一旦お支払いいただいた参加登録費および演題登録料は、理由の如何を問わず返金いたしません。1 演題に対して重複して演題登録料をお支払いされないようご注意ください。
11. 参加登録を完了し、かつ参加登録費等をお支払いいただいた方には、プログラムおよび参加証（ネームカード）等を2022年3月上旬（予定）にJPS Onlineに登録された所属先に発送いたします。所属先以外の送付先を希望される場合は、<https://pharmacol.or.jp/mailform/index.html>よりご連絡ください。また、演題検索ウェブサイトで閲覧および検索ができるようになる予定です。詳細につきましては、後日年会ホームページにおいてご案内いたします。

要旨内容に関する工業所有権の申請について

発表内容に関して特許権等の工業所有権の申請を考慮される場合には、内容告知日は演題検索ウェブサイトおよびスマートフォンアプリの公開日となりますので、十分ご注意ください。

著作権の帰属について

年会終了後 JPS Supplement 電子版に掲載される英文発表要旨の著作権は著者に帰属します。著者は Creative Commons ライセンス「表示 - 非営利 - 改変禁止」(CCBY-NC-ND)、「表示」(CCBY) のいずれかを選択することができます。詳しくは、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/3.0/> をご参照ください。

著作権の利用許諾について

著者が英文発表要旨を日本薬理学会が認める媒体（J-Stage）で電子ジャーナルとして公開することに特段の意思を示さない場合は、電子公開に同意いただいたものといたします。

開発中化合物の取扱いについて

開発中化合物の取扱いに関しましては、VII ページのガイドラインをご確認ください。

薬理学エドゥケーター認定申請の参加ポイントについて

本年会の参加者に、薬理学エドゥケーター認定申請の際の参加ポイントを発行します。詳細はホームページをご確認ください。

第 95 回日本薬理学会年会に関するお問い合わせ

第 95 回日本薬理学会年会 年会事務局

〒890-8544 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科生体情報薬理学分野

第 95 回日本薬理学会年会ホームページ：

<https://pharmacology.main.jp/jps95/>
年会開催案内や演題登録に関しては、年会ホームページにおいてご案内いたします。

事前参加登録 / 演題登録、会員の入退会、異動等その他に関するお問い合わせ

公益社団法人日本薬理学会事務局

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル内
TEL：03-3814-4828 FAX：03-3814-4809
E-mail：society@pharmacol.or.jp

協賛、寄附に関するお問い合わせ

第 95 回日本薬理学会年会 運営事務局

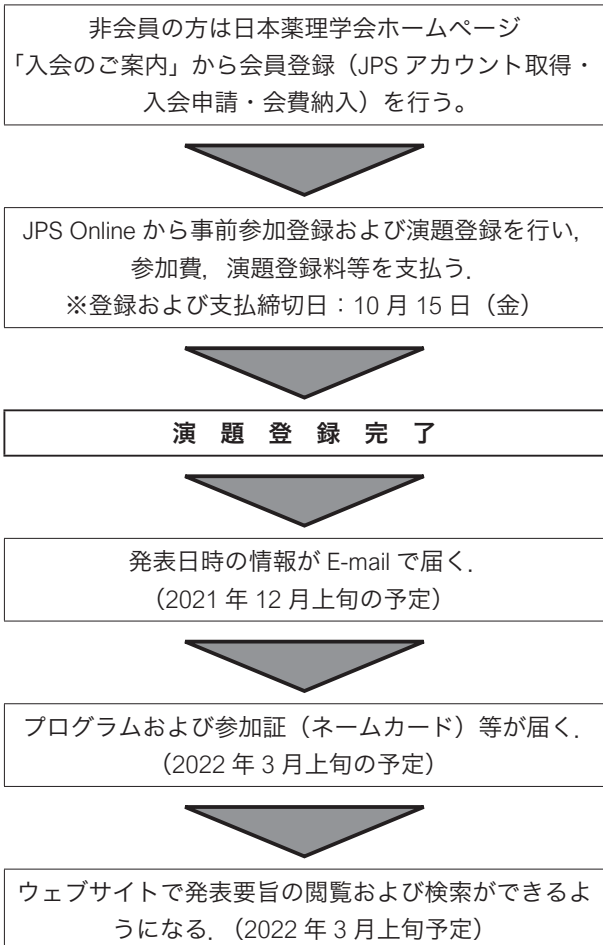
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 -9-17
福岡天神フコク生命ビル 11F 株式会社コングレ 九州支社内
TEL：092-716-7116 FAX：092-716-7143
E-mail：jps95@congre.co.jp

展示、広告掲載に関するお問い合わせ

株式会社エー・イー企画

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4F
TEL：03-3230-2744
E-mail：jps95exhibition@aeplan.co.jp

演題の登録手順チャート



日本薬理学会の年会および地方部会における開発中化合物の取扱いに関するガイドライン

(平成21年6月23日決定)

1. 目的

本ガイドラインは、新規化合物あるいは新規化合物群に対する知的財産権および医薬品等としての開発競争力を保護することを目的として、日本薬理学会が主催する学術集会での発表における開発中化合物の取扱いの方針を示すものである。このガイドライン作成の主旨は、学術集会における適切な学術情報の提供を堅持した上で、未公表の新規化合物を対象とした研究の発表を促進し、学術集会の活性化を推進することにある。

2. 対象となる発表の範囲

年会および地方部会におけるシンポジウムおよび一般演題（口演、ポスター）を対象とする。特別講演、教育講演等の招待講演については、発表者の判断に委ねることとし、本ガイドラインの対象外とする。

3. 適用の条件

以下の条件のいずれかに該当する場合に、化合物の構造式を伏せることができる。

- 1) 未公表の新規化合物あるいは化合物群に関する研究で、特許申請を予定しており、構造式の公表により知的財産権を失う等の不利益を生じる恐れがある場合、原則として発表者の責任において妥当性を判断し、事前審査等を行わない。発表者からの問合せ、要請等があれば、年会長（あるいは部会長）と年会学術企画委員長が対応する。
- 2) 研究対象の化合物が特許申請中あるいは特許成立後ではあるが、医薬品として開発中であり、化合物あるいは化合物群の構造式あるいは基本骨格を公表することにより、開発競争力を損ねる等の不利益を生じる恐れがある場合、原則として発表者の責任において妥当性を判断し、事前審査等を行わない。発表者からの問合せ、要請等があれば、年会長（あるいは部会長）と年会学術企画委員長が対応する。
- 3) これ以外の理由により構造式、基本骨格等に関する情報を公表しないことを希望し、審査を経て妥当と判断された場合、年会長（あるいは部会長）と年会学術企画委員長が事前審査を行う。発表者は、年会長（あるいは部会長）に発表内容、理由等に関する資料を提出する。

4. 取扱い方法

適用条件を満たした場合、コード名等の名称のみの表示での発表を可能とする。発表で用いる図表等に、構造式の公表を行わない理由を付記することが望まれる。

5. 本ガイドラインの周知について

本ガイドラインは、薬理学会ホームページ、年会ホームページ、部会ホームページに掲載することにより、会員への周知を図る。